

No. 517  
2014年  
8月

# OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F  
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055  
<http://www.orsj.or.jp/>

## ● 第5回「近藤賞」候補者募集

「近藤賞」は、2007年日本OR学会創立50周年事業の一環として創設されたものであり、ORの研究、普及または教育に傑出した業績を挙げた個人（またはグループ）を表彰し、わが国のORの発展に資するとともに、広くこの分野の社会における認知度を高めることを目的としています。

このたび、下記の要領で第5回「近藤賞」受賞候補者を募集いたしますので、ご推薦くださいますようお願いいたします。

**推薦方法：**日本OR学会個人正会員および名誉会員による推薦

**提出書類：**推薦理由書、被推薦者の略歴および主要業績一覧表（書式自由）

**推薦対象者：**ORの研究、普及、または教育のいずれかの分野で傑出した業績を挙げた日本人、または日本を主たる活動の場とする人（グループも可）

**推薦締切：**2014年9月30日

**推薦書送付先：**日本OR学会事務局

E-mail: [jimukyoku@orsj.or.jp](mailto:jimukyoku@orsj.or.jp)

\*受賞者は近藤賞選考委員会において決定し、2015年春季研究発表会で表彰を行い、受賞記念講演をしていただく予定です。

なお、「近藤賞」は2年に1回程度の頻度で募集を行う予定です。

詳しくは学会WEB

<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award10.html>

<http://www.orsj.or.jp/~oldweb/Members/kondou.pdf> をご覧ください。

（表彰委員会）

## ● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞、業績賞、実施賞、普及賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を毎年表彰しております。つきましては、今年度も受賞候補者の積極的なご推薦を募ります。

推薦締切日は以下のとおりです。

1. 業績賞、普及賞、実施賞：2014年11月30日
2. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：2015年1月31日
3. 学生論文賞：2015年3月31日

推薦状は、ホームページ（<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>）からダウンロードしてご利用ください。

過去の受賞者一覧は<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award.html>に記載しています。

**【研究賞】** 昭和43年（1968年）に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、2011年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。

1. 本学会員であること。
2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。

授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。

**【研究賞奨励賞】** 若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。

被推薦者は、原則として応募締め切り時に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方は、この年齢制限を超えていても構いません。

授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年3名程度を表彰する予定です。

**【事例研究賞】** ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

**【業績賞】** ORの研究・教育・実施などにかかわる活動に顕著な業績を挙げた個人に対して贈られます。

ただし被推薦者は、原則として満40歳以上、満60歳以下の学会員であることが必要です。毎年1名程度を表彰する予定です。

**【実施賞】** ORの強力な実施・推進に対して贈られます。毎年1件程度を表彰する予定です。

**【普及賞】** ORの普及に大きな貢献に対して贈られます。毎年1件程度を表彰する予定です。

\*〔実施賞〕〔普及賞〕は、個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔論文賞〕 2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて（非会員が含まれる場合も全員）を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。

〔学生論文賞〕 学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。

(表彰委員会)

## ● 2014年秋季シンポジウム (第72回)

日時：2014年8月27日(水) 13:00~17:30

場所：北海道科学大学S会場 (5号館1階5106室)  
(札幌市手稲区前田7条15丁目4番1号)

[http://www.orsj.or.jp/~nc2014f/?page\\_id=27](http://www.orsj.or.jp/~nc2014f/?page_id=27)

テーマ：「メタヒューリスティクスの新たな挑戦」

シンポジウムHP：

[http://www.orsj.or.jp/~nc2014f/?page\\_id=5](http://www.orsj.or.jp/~nc2014f/?page_id=5)

実行委員長：加地太一 (小樽商科大学)

プログラム：(敬称略)

13:00~13:05 開催の挨拶

13:05~14:05

講演1「実践的問題解決のためのメタヒューリスティクス」

講師：柳浦陸憲氏 (名古屋大学大学院情報科学研究科)

概要：多くの現実問題を組合せ最適化問題として定式化できるが、NP困難問題に代表されるように、入力データが大きくなると現実的な時間で厳密な最適解を得ることが困難であるものがほとんどであると言っても過言ではない。このような問題に対して現実的な時間で精度の高い解を得る実用的な解法として、メタヒューリスティクスは広く認知されるようになってきている。本講演では、メタヒューリスティクスの基本的な考え方を概説したのち、問題解決のための実践的な解法をメタヒューリスティクスに基づいて作成する試みについて紹介する。

14:10~15:10

講演2「多点探索の最前線」

講師：永田裕一氏 (徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部)

概要：NP困難問題に代表されるような難しい組合せ最適問題に対して、メタ戦略に基づく近似解法が広く利用されている。メタ戦略の枠組には1つの探索点を動かしながら探索を行う手法(一点探索)と複数の探索点を用いて探索を行う手法(多点探索)がある。本講演では多点探索型メタ戦略の中でも遺伝的アルゴリズムとメメティックアルゴリズムに焦点を当て、これらの枠組みを用いて高性能アルゴリズムを構成するための基本的な考え方を、具体例を交えて紹介する。

15:25~16:25

講演3「実際の数理最適化問題を瞬時に解くための実装技術」

講師：久保幹雄氏 (東京海洋大学大学院海洋工学系流通情報工学)

概要：本稿では、実際問題であらわれる難しい最適化問題を短時間で解くための方法論について論じる。最適化プロジェクトを路頭に迷わせないためには、次々とクライアントから要求される付加条件や変更条件を柔軟に取り扱えること、修正が短時間で完了すること、可視化やデータ解析が容易であることが必要である。ここでは、単なる哲学ではなく、Python言語による具体的な実装例を用いてコツを伝授する。

16:30~17:30

講演4「ニューラルネットワークとメタヒューリスティクス」

講師：山本雅人氏 (北海道大学大学院情報科学研究科)

概要：近年の計算機性能の向上によって、ニューラルネットワークの重み更新にメタヒューリスティクスを適用する進化型ニューラルネットワークの研究が見直されてきている。その応用範囲は、この研究が注目されるようになったロボット制御の問題だけでなく、OR分野の基本的問題であるジョブショップスケジューリング問題など多様な分野へと広がっている。本発表では、応用事例を紹介しながら今後の方向性について議論する。

事前振込み参加費：(8/15締切)

正・賛助会員：3,000円

学生会員：1,000円

非会員：4,000円

非会員の学生：事前振込みはなし。

\*非会員の学生の方は、当日受付にて学生会員と同額で参加できます。

\*7月号綴込みの振込用紙をご利用ください。

**正会員特典利用：**(8/15締切)

2014年度年会費納入済みの個人正会員は、2014年春・秋シンポジウムのうち1回無料で参加できます。7月号綴込みの振込用紙に○,またはメールにてお申込みください。事前の申し込みが必要です。

**当日受付参加費：**

正・賛助会員：当日4,000円

学生会員：当日2,000円

非会員：当日5,000円

非会員の学生：当日2,000円

\*学生の方は、当日受付にて学生証提示が必要となります。

**協賛学会：**(正会員と参加費同額)

- ・公益社団法人 日本経営工学会 (JIMA)
- ・社団法人 日本品質管理学会 (JSQC)
- ・日本信頼性学会 (REAJ)
- ・研究・技術計画学会 (JSSPRM)
- ・一般社団法人 日本設備管理学会 (SOPE-J)
- ・一般社団法人 プロジェクトマネジメント学会 (PM)

**参加費関連問合せ先：**OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

## ● 2014年秋季研究発表会

**日 程：**2014年8月28日(木), 29日(金)

**場 所：**北海道科学大学(札幌市手稲区前田7条15丁目4番1号)

**実行委員長：**大堀隆文(北海道科学大学)

**テーマ：**「ORの普及」

**大会HP：**<http://www.orsj.or.jp/~nc2014/>

**特別講演：**

- ・腰塚武志氏(前OR学会会長, 南山大学)  
「都市空間のモデル化—都市のOR40年—」
- ・藤井純一氏(前近畿大学教授)  
「スポーツビジネスへの挑戦」
- ・平井広志氏(OR学会「研究賞」受賞者, 東京大学)  
「多品種流と距離空間」

**チュートリアル講演：**

- ・藤澤克樹氏(九州大学)  
「グラフ解析・ネットワーク分析入門」

**オーガナイズドセッション：**

「サービスサイエンスとOR」

オーガナイザー：北守一隆氏(北海道科学大学)

・「サービス・サイエンス(SSME)における知的シミュレーション基盤」

北守一隆氏(北海道科学大学)

・「消費者カテゴリーについての一考察」

角田美知江氏(北海学園大学)

・「運送業における情報サービス—人的コミュニケーションを重視している事業協同組合における求貨求車システムの事例研究—」

関 哲人氏(北海学園大学)

・「サービス品質に関わる情報品質—SCM as a Serviceの視点から—」

青山ゆう子氏(北海道大学)

**事前振込み参加費：**(8/15締切)

正・賛助会員：6,000円

学生会員：1,000円

非会員：8,000円

非会員の学生：事前振込みはなし。

\*非会員の学生の方は、当日受付にて学生会員と同額で参加できます。

\*7月号綴込みの振込用紙をご利用ください。

**当日受付参加費：**

正・賛助会員：当日7,000円

学生会員：当日2,000円

非会員：当日10,000円

非会員の学生：当日2,000円

\*学生の方は、当日受付にて学生証提示が必要となります。

**登壇料：**非会員の方が発表する場合、参加費と別途、2,000円を当日受付にてお支払いください。

**懇親会：**2014年8月28日(木) 19:00~

場 所：サッポロビール園(札幌市東区北7条東9丁目2-10)

事前振込み参加費：5,000円

当日受付参加費：6,000円

**見学会：**2014年8月30日(土)

空知管内砂川・滝川方面(松尾ジンギスカン, ワイナリー他)

見学会参加費：2,000円(事前振込みなし。当日受付のみ)

**賛助会員の方へ：**

1口につき1名様が研究発表会に無料でご参加できます。賛助会員受付にて名刺をご提示ください。(事前の参加連絡は不要です。)ご参加者様については、

社内で調整をお願いいたします。ご欠席の場合は研究発表会アブストラクト集をお送りしております。

#### 企業展示：

(株)NTTデータ数理システム  
(株)構造計画研究所  
(株)オクトーバー・スカイ

#### 協賛学会：(正会員と参加費同額)

- ・公益社団法人 日本経営工学会 (JIMA)
- ・社団法人 日本品質管理学会 (JSQC)
- ・日本信頼性学会 (REAJ)
- ・研究・技術計画学会 (JSSPRM)
- ・一般社団法人 日本設備管理学会 (SOPE-J)
- ・一般社団法人 プロジェクトマネジメント学会 (PM)

発表関連問合せ先：日本OR学会2014秋季研究発表会実行委員会 E-mail: nc2014f@orsj.or.jp

参加費関連問合せ先：OR学会事務局  
E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

### ● 2015年春季シンポジウム (第73回)

日 程：2015年3月25日(水)  
場 所：東京理科大学 神楽坂キャンパス

### ● 2015年春季研究発表会

日 程：2015年3月26日(木)、27日(金)  
場 所：東京理科大学 神楽坂キャンパス  
実行委員長：矢部 博 (東京理科大学)

### ● 研究部会・グループ開催案内

{信頼性}

#### ・第3回

日 時：2014年8月8日(金) 10:30~12:00  
場 所：広島大学東広島キャンパス工学部A1-111号室  
(<https://www.hiroshima-u.ac.jp/top/access/>)

#### テーマと講師：

“Bridging the Gap: Building Dependable Software Systems”

Dr. Mohammad Zulkernine (School of Computing and Electrical and Computer Engineering (Cross-appointed), Queen's University, Canada  
<http://research.cs.queensu.ca/~mzulker/>)

### ・第4回 (OR学会中国・四国支部の支部事業「広島国際セミナー2014 (ISS2014)」との共催)

日 時：2014年8月19日(火) 10:00~16:50  
場 所：広島大学東広島キャンパス工学部第二類A1棟A1-111会議室  
(<http://www.rel.hiroshima-u.ac.jp/access/access.html>)

#### テーマと講師：

- (1) 「Survivability Quantification for Networks」  
Professor Kishor Trivedi, Duke University, USA
- (2) 「A Modified Krylov Subspace Approximation Method for Transient Solutions of Continuous-Time Markov Chain」  
Professor Hiroyuki Okamura, Hiroshima University, Japan
- (3) 「Stochastic Evaluation Methods of Multi-State Systems with Partially Ordered State Spaces」  
Professor Fumio Ohi, Nagoya Institute of Technology, Japan
- (4) 「Reliability Assurance and PHM: Key Challenges」  
Professor Ming J. Zuo, University of Alberta, Canada
- (5) 「Simulation-based Reliability and Maintenance Optimization for Multi-Unit Systems」  
Professor Won Y. Yun, Pusan National University, Korea
- (6) 「Dynamic Degradation Modelling in Remaining Useful Life Estimation」  
Professor Wenbin Wang, University of Science and Technology Beijing, China
- (7) 「Empirical Software Reliability Engineering」  
Professor Tadashi Dohi, Hiroshima University, Japan

問合せ先：肖 霄 (シャオシャオ) (首都大学東京)  
E-mail: xiaoxiao@tmu.ac.jp

部会URL：<http://www.comp.sd.tmu.ac.jp/xiao/socialactivity/index.html>

\*\*\*\*\*

## 第26回RAMPシンポジウム

\*\*\*\*\*

**日 程**：2014年10月16日(木)，17日(金)

**会 場**：法政大学市ヶ谷キャンパス ポアソナード・タワー26階スカイホール

**実行委員長**：野々部宏司(法政大学)

**プログラム委員長**：柳浦陸憲(名古屋大学)

**プログラム**：

10月16日(木)

10:00~13:00「土木計画学における最適化」

オーガナイザー：林 俊介(東北大学)

- ・貝戸清之(大阪大学)，「インフラ管理の最適化：アセットメトリクスに向けて」
- ・高山雄貴(愛媛大学)，「非凸な空間経済における安定均衡状態の特性分析：都市集積モデルにおけるランクサイズルールの創発」
- ・赤松 隆(東北大学)，和田健太郎(東京大学)，「動的な交通ネットワーク流の制御」

14:30~17:30「エネルギー利用最適化への挑戦」

オーガナイザー：佐々木美裕(南山大学)

- ・児山篤紘(関西電力株式会社)，「再生可能エネルギー大量導入に向けた関西電力の取り組み」
- ・高嶋隆太(東京理科大学)，「不確実性下における電源リプレースの経済性評価」
- ・田中 誠(政策研究大学院大学)，「再生可能エネルギーの政策分析—RPS制度と均衡制約をもつ数理計画問題—」
- ・横山良平(大阪府立大学)，「分散型エネルギーシステムの最適設計—設計と運用の階層的關係を考慮したアプローチを中心として—」

18:00~(予定)懇親会

10月17日(金)

9:30~12:30「世界をリードする計算機科学の巨大プロジェクト」

オーガナイザー：加藤直樹(京都大学)

- ・岡田真人(東京大学)，「機械学習の三つのレベルとデータ駆動型科学」
- ・湊 真一(北海道大学)，「ERATO湊離散構造処理系プロジェクトの主な研究成果と近況について」
- ・渡辺 治(東京工業大学)，「計算限界への挑戦：P=NPの世界を目指して」
- ・河原林健一(国立情報学研究所)，「巨大グラフ：理論解析と高速アルゴリズム」

14:00~17:00「整数計画」

オーガナイザー：品野勇治(Zuse Institute Berlin)

- ・Martin Grötschel(Zuse Institute Berlin, Technical University Berlin, MATHEON Berlin)，"Future perspectives of optimization: My view"
- ・Matteo Fischetti\*, Michele Monaci(University of Padova)，"Proximity search heuristics for Mixed Integer Programs"
- ・Andrea Lodi(University of Bologna)，"Solving Mixed-Integer Quadratic Problems with IBM-Cplex: a progress report"
- ・Tobias Achterberg(Gurobi Optimization Inc.)，"Presolving in Mixed Integer Programming"

シンポジウムホームページ：<http://www.orsj.or.jp/ramp/2014/>



## ● 公募案内

(詳細は、各大学のWEBおよび、OR学会WEBの「教員公募案内」をご覧ください。)

## ・ 静岡大学大学院工学研究科

**募集人員**：助教1名

**所 属**：工学研究科数理システム工学専攻

**専門分野**：オペレーションズ・リサーチ、数理工学のアプローチにより、製造、物流、通信等での産業基盤技術開発もしくは産業界を取り巻く諸問題の解決を目指した教育・研究ができる人材を求めます。システムの設計、計画を指向した分野の研究者を対象とします。

**担当授業**：学部・大学院生向けの専門科目（工学基礎実習、創造教育実習、プログラムコンテストを含むプログラミング関連の実習または講義、グラフ理論、応用システム工学演習の中からいくつか）ほか。

**応募資格**：博士の学位（着任時までに博士号取得も含む）を有し、学部生および大学院生の数理システム工学教育に熱意をもって取り組んでいただける方

**着任時期**：2014年12月1日以降できるだけ早い時期（遅くとも2015年4月1日）

**任 期**：5年（学内審査により5年後に任期無しポストへ移行することが可能）

**提出書類**：(1) 履歴書、(2) 研究業績リスト、(3) 主要論文の別刷、(4) これまでの研究および教育活動概要、(5) 着任後の研究と教育に対する抱負、(6) 推薦書（2通）もしくは応募者についてご意見をいただける方（2名）の氏名とその連絡先

**応募締切**：2014年9月25日 必着

**書類送付先及び問合せ先**：〒432-8561 浜松市中区城北3-5-1

静岡大学大学院工研究科数理システム工学専攻  
関谷 和之

E-mail: sekitanisekitani@sys.eng.shizuoka.ac.jp

URL：http://www.shizuoka.ac.jp/recruit/2014/20140701\_mse.pdf

## ・ 小樽商科大学商学部

**担当科目**：情報システム構築論、情報処理、計画数学、および学部・大学院の情報システム関連科目

**募集人員**：准教授1名

**任 期**：定めない

**所属学科**：商学部社会情報学科（組織と情報講座）

**専攻分野**：情報工学関連分野

**応募資格**：大学院博士課程修了（平成27年3月修了見込者を含む）またはそれと同等以上の研究業績がある方

**採用予定年月日**：2015年4月1日

**応募締切日**：2014年10月17日（金）必着

**応募書類**：(1) 履歴書、(2) 教育研究業績表、(3) 業績抜刷等の資料、(4) 現在までの研究概要〔提出論文③の要旨、その分野における位置づけと貢献〕、(5) システム開発プロジェクト実績表、以上(1)～(5)をPDFファイル化してCDまたはDVDに収めて提出すること。(6) 学部および大学院の成績証明書、(7) 学部の卒業証明書および大学院の修了証明書（修了見込証明書）

ダウンロード先：<http://www.otaru-uc.ac.jp/info/koubo/post-13.html>

**書類提出先**：〒047-8501 小樽市緑3-5-1 国立大学法人小樽商科大学長宛

(連絡先総務課人事係 TEL: 0134-27-5208,

FAX: 0134-27-5213

E-mail: jinji@office.otaru-uc.ac.jp)

※封筒の表に「情報システム構築論等担当教員応募書類」と朱書きし、郵送の場合には、書留便にしてください。

## ・ 広島大学大学院工学研究院電気電子システム数理部門

**募集人員**：助教1名

※広島大学型テニユア・トラック制度（一般型）に該当します。

**所 属**：電気電子システム数理部門

専門分野生産システム工学、生産計画、スケジューリング、ならびに生産・在庫・サプライチェーンの管理方式に関する研究分野

**担当科目**：学部では教養ゼミ、システム工学実験など、大学院ではシステムサイバネティクス専攻における研究指導・講義

**応募資格**：博士の学位またはPh.Dを有する方、あるいは着任時までに学位取得見込みの方

**着任時期**：2015年1月1日以降のなるべく早い時期、平成27年4月1日着任も可能

**勤務形態**：常勤

**任期（テニユア・トラック期間）**：5年（再任不可）

**テニユア審査**：広島大学のテニユア・トラック制に関する規則に基づき、テニユア・トラック期間が満了する6ヵ月前までにテニユア審査を行い、これに合格すればテニユアを付与します。

**待遇**：給与等の雇用条件は本学の規定によります。

**提出書類**：(1) 履歴書, (2) 研究業績リスト, (3) 主要論文5編以内の別刷, (4) 本人に関する所見を求めうる2名の方の氏名と連絡先

**応募締切**：2014年10月31日(金) 必着

**書類送付・問合せ先**：〒739-8527 東広島市鏡山1-4-1  
広島大学大学院工学研究院電気電子システム数理部門教授 高橋勝彦

TEL: 082-424-7705, FAX: 082-422-7024,

E-mail: takahasi@hiroshima-u.ac.jp

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/cyb/> (大学院工学研究科システムサイバネティクス専攻HP)

URL : <http://www.hiroshima-u.ac.jp/cyb/koubo/>

## ● 他学協会協賛案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、主催学会の会員と同じ費用で参加できる場合があります。詳しくは、各学会にお問合せください。

### ・日本経営システム学会 第53回全国研究発表大会

**日程**：2014年10月18日(土)～19日(日)

**場所**：愛知工業大学名古屋自由ヶ丘キャンパス

**主催**：日本経営システム学会

**協賛学会参加費**：会員の参加費が適用されます。

**WEB**：<http://www.jams-web.jp/information/actnatasc.html>

### ・8th International Conference on Project Management (ProMAC 2014)

**日程**：2014年12月3日(水)～12月6日(土)

**場所**：The Royale Chulan, Kuala Lumpur, Malaysia

**主催**：一般社団法人 プロジェクトマネジメント学会 (PM)

**WEB**：<http://www.spm-hq.jp/promac/2014/>

## ● 新入会員 (2014年5月理事会承認分)

### －正会員－

松本 和宏	(株)富士通研究所
志村 裕久	テンプレ大学ジャパンキャンパス
荒木 徹也	国立情報学研究所
稲澤 光	日立システムズ
大柳 幸彦	公益財団法人国際平和機構〔北海道支部〕
大柳 俊夫	札幌医科大学〔北海道支部〕
桑野 一成	神奈川大学
市川 雅也	MHIエアロスペースシステムズ(株)〔中部支部〕

### －学生会員－

南野 友香	鳥取大学大学院〔中四国支部〕
鍾 子健	首都大学東京〔本部〕
田淵 直樹	九州工業大学〔九州支部〕
柳澤 明彦	ビジネス・ブレイクスルー大学大学院
中山 莉奈	南山大学〔中部支部〕
藤原 佳顕	東邦大学大学院〔本部支部〕
大西 愛乃	南山大学〔中部支部〕
若林 憲人	中央大学大学院〔本部支部〕
清末 尊	九州工業大学〔九州支部〕
劉 功義	東京都市大学大学院
長田 拓也	中央大学
松浦 清一	関西大学大学院
中谷 啓	東京理科大学
中山 舜民	東京理科大学
伊藤 健	中央大学大学院
山本 哲生	東京理科大学大学院
河野 裕三	東京理科大学
北村 祐太郎	サレジオ工業高等専門学校
佐藤 峻	東京大学大学院

\* 支部表記のない方は本部所属です。

## 2014年度年会費納入のお願い

2014年度年会費の請求書を11月に発送いたしました。納入期限は2013年12月末までとなっておりますので、お早めにご入金くださいますようお願いいたします。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

\*OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

## 学生会員年会費無料化キャンペーン

- ① 学生で、かつ指導教員が正会員の方は、2013・2014年度の学生会員年会費5,000円は無料となります。新入会の場合は、WEBより入会申込みの手続きをし、入会金600円を振り込んでください。（入会金のお支払いをもって、入会手続き完了となります。）
- ② 学生の方は指導教員様に事務局へのメール送付を依頼してください。指導教員様のメール受領をもって、無料化受付が完了します。メールには「教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属先、メールアドレス」を明記してください。
- ③ ただし、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。
- ④ 当該学生が卒業、就職などにて年度末（3月）退会の場合はお手数ですが、指導教員様より事務局にご連絡ください。

## シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

学会事務局までお問合せください。

## 特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。

## メーリングリスト登録のご案内

OR学会ではメーリングリストを開設し、本学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナーなどの催しに関する広報機能としてご利用いただいています。

新規にOR学会のご入会の方、未登録の方は、ご登録くださいますようご案内申し上げます。

アドレス変更の場合、ご自分で新アドレスの参加登録、旧アドレスの脱退手続きが必要です。OR学会会員情報の変更届けとは連動しておりませんので、ご注意ください。

詳しくは、学会WEBのメーリングリスト利用の手引きをご覧ください。

<http://www.orsj.or.jp/members/mlhowto.html>

## 年会費専用振込み口座

年会費（不課税）：正会員14,400円、  
学生会員5,000円、  
シニア会員7,200円  
口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会  
ゆうちょ銀行：東京00190-6-79492  
みずほ銀行：根津支店（店番号235）普通1124744  
\*手数料は払込人負担でお願いいたします。  
\*会員番号とお名前は必ずお書きください。

## 年会費銀行自動引き落とし受付開始

年会費銀行自動引き落としの新規お申込み受付を開始しました。対象は、正会員・シニア会員の2015年度年会費からです。お申込み締切は2014年9月末日。引き落とし日は2015年1月20日（2015年度年会費分です。）

2014年9月末日以降のお申込みの場合は2016年度年会費からの適応となります。

ご希望の方は、事務局までメールでご連絡ください。銀行所定の用紙をお送りいたします。

## OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5  
サン・チカビル7F  
TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

\*各種お届けは、メールにてご連絡ください。

（住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先／学生会員→正会員への変更／退会届）

会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。